



二宮町のお囃子^{はやし}が箱根駅伝に躍動感をあたえる (1月2日)

湘南にのみや 議会だより

平成26年
12月定例会
12/17~12/25

一新議会の構成決まるー

- ◆添田孝司氏を議長・根岸ゆき子氏を副議長に選出…………… 2 P
- ◆町長所信表明／それに対する総括質疑…………… 3 P～4 P
- ◆議会で決まったこと…………… 5 P～7 P
- ◆一般質問に7議員が登壇 …………… 8 P～15 P
- ◆私の抱負…………… 16 P～17 P
- ◆補助金交付団体の紹介…………… 18 P



今号は、当初1月23日又は2月9日の発行予定でしたが、昨年11月の改選により12月定例会の会期が例年より後半にずれたこと、また地区配布物の集中を避けるため、2月25日の発行となりました。

3月定例会のお知らせ

2月25日(水)から開会
本会議・委員会の傍聴できますーお気軽にどうぞー

議会の構成

平成26年12月4日臨時会

議長に添田議員、副議長に根岸議員を選出



改選後、町議会は12月4日に臨時会を開き、正副議長、監査委員、常任委員等を選任した。正副議長候補者は選挙に先立ち所信表明を行った。結果は次のとおり。

□議長選挙

添田 孝司 9票
二見 泰弘 4票
白票 1票

□副議長選挙

根岸 ゆき子 13票
白票 1票

監査委員（議会選出）

は全会一致で杉崎俊雄議員に決まった。

*監査委員は識見を有する者と議会選出の2名で構成され地方自治体の長が議会の同意を得て選任する。

二つの常任委員会の改選は、副議長を含む5名の選考委員会に各議員が志望アンケートを提出し、委員を決定した。

また議会運営委員、議会だより編集委員、議会基本条例推進委員を選出した。各正副委員長は互選によるもの。

総務建設経済常任委員会（7名）

- ◎委員長 桑原英俊
- 副委員長 善波宣雄
- 委員 杉崎俊雄・柳川駅司
一石洋子・二見泰弘
添田孝司

教育福祉常任委員会（7名）

- ◎委員長 小笠原陶子
- 副委員長 野地洋正
- 委員 根岸ゆき子・前田憲一郎
二宮節子・露木佳代
渡辺訓任

議会基本条例推進委員会（10名）

- ◎委員長 根岸ゆき子
- 副委員長 一石洋子
- 委員 桑原英俊・小笠原陶子
二見泰弘・前田憲一郎
杉崎俊雄・善波宣雄
渡辺訓任・添田孝司

議会運営委員会（6名）

- ◎委員長 二見泰弘
- 副委員長 渡辺訓任
- 委員 桑原英俊
二宮節子
杉崎俊雄
小笠原陶子

第2回 臨時会

平成26年12月4日

衆議院解散総 選挙の執行予算

平成26年11月21日に衆議院が解散したことに伴い、補正予算を専決処分で決定した。総額1千298万8千円は県からの委託による。

以下のやりとりがあった。

問 時間外勤務手当は、毎月20時間以上は残業がつかないという厳しい勤務状況の中で、しっかりと手当をつけるべきだがどうなるのか。

答 財源はやった分だけ国から入るため、手当をつけて運用する。

人事院勧告に基づく給与改定に伴い、職員にかかる経費を補正するもの

△条例の改正▽

職員の給与に関する 条例の一部を改正

人事院勧告に基づき、

通勤手当↓基本月額の上
限額を3万1千600円
から3万円に変更。勤勉
手当↓0・15月額分が引
き上げられる。なお、平
成26年度は4月に遡って
適用される。

特別職の職員の給与に関 する条例の一部を改正

職員同様、期末手当を
年間で0・15月額分引き
上げるもの。

△補正予算▽

一般会計

予備費から1千547
万円を充当したもの。

国民健康保険特別会計

一般会計からの繰入金
を466万7千円を増額
したもの。

後期高齢者医療特別会計

一般会計からの繰入金
を202万円減額したも
の。

介護保険特別会計

一般会計からの繰入金
を1万5千円増額したも
の。

4 会計全会一致で可決

村田町長の

所信表明



住民力の高い二宮町は、誰もが主人公になれる町である。現場に足を運び、対話を重ね、オープンでフェアな町政を行うことで、町民の皆さまと一緒に、未来を変えることに取り組んでいく。

1. 人口減少・高齢化が進む時代に合ったまちづくりとして「町の財政をゼロから」見直す。

町民目線で事業を再点検し、変えていくべき所は速やかに変え、継続すべき所はしっかりと継続しながら、財政をスリム化。また施設に行かなくても空き情報を確認し、予約ができるようなシステムを導入する。

◆土地の有効活用

国や県とも協力を図ったり、民間企業を活用したり、町民の方々のアイデアや力を発揮していただいたり、町外に発信できる場として、また人を呼び込める場として、早く有効活用できるよう、さまざまな方法の検討を進めていく。

◆予算編成

今後、予算編成過程の透明化・見える化を進め、町民の皆さまから、税金の使い方にご意見・ご理解いただけるような仕組みづくりを検討していく。

なお「任期中の町長退職金の廃止」については、町は、神奈川県市町村職員退職手当組合に加入しているた

め、速やかに退職手当組合に制度の見直し等について、実現に向けて働きかけを始める。

2. 子育て世代に選ばれる「安心して子育てできる」「住みたい・住み続けたい」まちづくりを進める。

若い世代の方々に働きながら子どもを育てることができるよう環境づくりが求められている。一時保育の充実や、子育て世代の情報交換の場である子育てサロンの充実、保護者に負担がかからない児童保育の運営など、民間とも連携しながら、より子育てしやすい施策を進める。

3. 「毎日が楽しく安心・安全な」まちづくりを進める

豊かな自然環境と良好な住環境との調和を図るために、「まちづくり条例（仮称）」を制定する。また、この度成立した「空家等対

策の推進に関する特別措置法」を受け、町でも空き家の情報を把握し、所有者に適正管理を求める「空家対策条例（仮称）」を制定する。

子育てしやすい町、安全で住みやすく楽しい町など、商品だけでなく町全体のイメージを「二宮ブランド」として発信し、定住促進に繋げたい。

そして医師会との連携のもと在宅医療の拠点づくりや、医療・介護に携わるさまざまな職種ネットワークを強化する。

来年度は、この町の福祉のあり方を示す「二宮町地域福祉計画」の策定に着手する。

二宮町第5次総合計画に示す「人と暮らし、文化を育む自然が豊かな町」を目指し、子育て世代に選ばれる、楽しい活気のある町にしていく。

村田新町長の所信表明に対し 2名の議員が問う！～総括質疑～

予算をゼロから見直す方法とは 公約の退職金廃止の実現性は

小笠原陶子 議員



問 町長は予算をゼロから見直すとのことだが、予算は総合計画に沿って配分されている。総合計画を含めて見直すのか。
町長 第5次総合計画は

将来像実現のための重要な理念であり、10年間変わらないという考えである。27年度予算は、私がこれまでに皆さまからもらった提案のうち、見直せるものを点検する。28年度には幅広い世代を対象にした町民満足度調査や外部の評価委員会等による結果をもとに町民の意見を反映していく。
問 予算編成過程の透明

化をしていきたいというが、10年ぐらい前から各自治体でやっている。わが町が今までなぜやれないかというところ、職員の人手が足りず時間もない。それでやれるのか。
町長 これまで予算編成過程に議会から意見ももらっていなかったが、今後は適切な時期に意見を

もらえるよう考えている。職員が過重にならないよう進めて行く。
問 町長退職金の廃止は退職金組合に働きかけるというが、時間がかかる。公約違反にならない取組をすべきだがどうか。
町長 退職金組合に条例を変えてほしいと制度にのっとって上げていく。一例として富山県の退職金組合があるが、そこでは「特別職の職員の退職金算定のための減額を別に定めた場合はその規定によるものとする。」とい

う一文が入ったことで自治体の判断で減額したりなくなったりした。これは3年かけて変えたそうだが、任期中に変えていきたい。
問 地域福祉計画をつくるが、地域で福祉を担う人が枯渇している。地域福祉を支えるボランティア養成は急務だがどうか。
町長 計画づくりは若い方にも働きかけ、審議会・協議会に参画してもらうよう努める。男女比率もこたわる。ボランティア養成は社協と具体的に提案、協議していく。

一宮町の価値創出と 町民参画の質を問う

一石洋子 議員



問 二宮町が存続する意義と20年後の二宮町の姿を問う。
町長 二宮町は自然に恵まれ、町民参画でまちづ

くりをし、人間味あふれる共助の精神が息づく、子育て世代に選ばれる町だということを、もうひとつの二宮ブランドとして発信していく。
問 町民の議論の場の質を問う。
町長 策定段階からテーマごとに町民の参画を促進して、より町民目線に立った場を作りたい。

問 東日本大震災後の移転に成功した玉浦地区に見られる住民力を喚起する議論の場を二宮町は持っているか。真剣に生き生きと議論するから、人との間に縁ができ、情も深まり強くなれる。私たちが今後10年かけて社会にはつきりものを言えるようなコミュニケーションを作ることができるか。



議会報告会で説明(平成26年10月)
27年度の予算はどうなるのか

町長 ラディアンができるとき、まさにそのような経験をした。計画段階から町民が胸を開いて、職員と一緒に作って作った。

問 緑資源の伐採が続いているが、異常気象に備え、より強力な治山治水の施策を問う。

町長 開発指導要綱によって事業者と協議を行っているが、自然と住環境の調和を図るために、まちづくり条例の制定を進める。

問 子育てしやすいとは何かを問う。

町長 町の支援と子育ての周辺環境が充実し、豊かで温かい地域の触れ合いがあることと考える。

問 昔、子供たちは自然のなかで全身全霊で遊び、かけがえのないことを学んだ。そして世界に對する飽くなき好奇心を育てた。町全体で子ども

のことを真剣に考え、子どもの自然とともに生きることが大人皆で議論したい。子ども憲章を作ったらかうか。

町長 理念を示すことは重要と考える。



議論の場のルール（玉浦地区）
①思ったことをどんどん言う
②決して人の意見をけなさない

12月定例会で

決まったこと

学童保育を新たな基準で

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定

子ども・子育て支援新制度による児童福祉法の改正により、本条例を制定する必要がある。教育福祉常任委員会に付託され審議・検討をした。

放課後児童健全育成事業とは、二宮町において現在のところ学童保育を意味する。

★現状との変更点

1. 対象を、おおむね10歳未満から小学6年生までに拡大（二宮町においては既に実施済）
2. 事業の実施は、県知事から市町村長への届け出とする

★新基準

1. 放課後児童支援員の配置は2名以上とする（うち1名は補助員への代替可能）

風致地区条例の制定

県から事務手続きを二宮町に権限委譲され、吾妻山風致地区内の建築、宅地の造成、木竹の伐採等の行為について必要な規制を制定する必要があるために提案された。

全会一致で可決

火災予防条例の一部改正

平成25年8月に発生した福知山市花火大会火災の教訓を踏まえ、屋外での露天商の規制がなかったため、消防法施行令の一部が改正され、露店商で火気調理器具を使用する場合は消火器の設置が義務付けられた。

また、大規模なイベントで露店規模が100店舗を超える場合、消防長が定める日までに一定の防火管理計画を提出しなければならぬ。町民の安全に配慮したものである。

全会一致で可決

消防団員等公務災害補償条例の一部改正

児童扶養手当法の改正にともない児童扶養手当と公的年金の併合調整ができるようになった。児童扶養手当よりも低額の公的年金を受給している場合において、児童扶養手当を受給できない事例が生じていたが、この改正により公的年金を受給している場合でも、その差額が児童扶養手当額に満たないとき差額が受給できるようになった。

また12月1日より消防団員の公務中の死亡または重度障害における補償が条例化された。

全会一致で可決



消防団員の訓練風景

二宮小学校校庭土地購入費など 総額で5千131万8千円の追加

一般会計補正予算

予算総額に歳入、歳出それぞれ5千74万3千円が追加された。

歳入は基金繰入金3千400万、国庫・県負担金727万4千円、寄付

二宮小学校校庭土地購

入費2千5百万円(地権者との交渉成立)、自立支援医療給付補助金に969万9千円(生活保護対象者増)、施設維持管理光熱水費994万4千円(体育館、生涯学習センター、環境衛生センター等電気代値上げ)、高齢者肺炎球菌ワクチン接種委託269万4千円(接種者増)、健康診査委託170万5千円(受診者増)

全会一致で可決

介護保険特別 会計補正予算

歳入、歳出それぞれ57万5千円が追加された。

歳入は一般会計からの繰入金、歳出は第一号被保険者保険料還付事業における過誤納等還付金であり、対象者の増によるもの。

全会一致で可決

副町長に長尾秀美氏



以下の質疑等があった。

問 人選の勘案要素は。

答 役場の中でのキャリアを重視した。

長尾氏は、昭和53年二宮町に入庁。都市計画課長、企画室長、教育次長、町民生活部長等を歴任。平成26年3月定年退職。任期は4年。

全会一致で可決

教育委員(教育長)に府川陽一氏



以下の質疑等があった。

問 二宮では校長2年間のみだ。手腕の発揮は。

答 問題を中地区共通と

固定資産評価 審査委員に 松木勝一氏

固定資産評価審査委員に松木勝一氏を選任するため、議会の同意を求められた。

松木氏は二宮在住で69歳。任期は3年。

全会一致で可決

人権擁護委員に 石綿貞子氏

人権擁護委員に石綿貞子氏を推薦するため、意見を求められた。

石綿氏は同委員4期目・二宮在住で74歳。任期は3年。

全会一致で可決

資源物の処理に関する事務の委託に関する協議

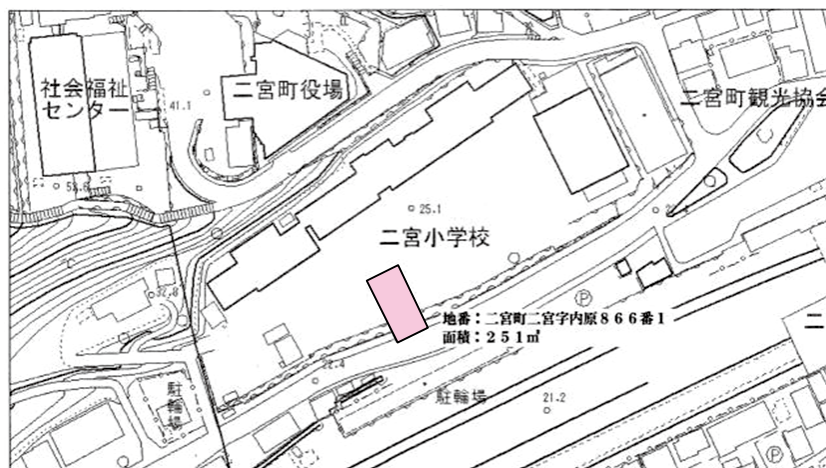
二宮町の資源物の処理に関する事務を平塚市に委託するにあたり、平成27年4月1日から施行される規約を定めることについて、同市と協議するもの。

全会一致で可決

不燃ごみ及び粗大ごみの処理に関する事務の委託に関する協議

二宮町の不燃ごみ及び粗大ごみの処理に関する事務を平塚市に委託するにあたり、平成27年4月1日から施行される規約を定めることについて、同市と協議するもの。

全会一致で可決



議案・陳情に対する賛否

		根岸ゆき子	前田憲一郎	桑原英俊	二宮節子	杉崎俊雄	善波宣雄	露木佳代	野地洋正	渡辺訓任	一石洋子	小笠原陶子	柳川 駅司	二見泰弘	添田孝司	結果
町長提出議案名 (左は議案番号)																
51	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
52	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
53	二宮町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
54	二宮町風致地区条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
55	二宮町火災予防条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
56	二宮町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
57	資源物の処理に関する事務の委託に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
58	不燃ごみ及び粗大ごみの処理に関する事務の委託に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
59	平成26年度二宮町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
60	平成26年度二宮町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
61	副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
62	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳 情 名 (左は陳情番号)																
9	介護従事者の処遇改善のために国に意見書提出を求める陳情書	△	○	△	○	△	○	○	○	○	○	○	△	△	△	採択
10	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員のため国に意見書提出を求める陳情	○	○	△	○	△	△	○	△	○	○	○	△	△	△	採択
11	福祉労働者の処遇改善・人材確保について国へ意見書の提出を求める陳情	△	○	△	○	△	△	○	○	○	○	△	△	△	△	趣旨採択

※議案番号51～62について、○は議案に対する賛成、●は反対したことを意味しています。
※陳情については、○は採択、△は趣旨採択、●が不採択です。
※添田議長は採決に加わりません。

陳情は
どうなった？

趣旨採択の討論

早速に改善が必要と感じるが、予算厳しき中遅れをきたす可能性を認める。国で取り組むべき。

介護従事者の処遇改善を求める陳情

8対5で採択 国へ意見書を提出

提出者は神奈川県医療労働組合連合会。陳情内容は、介護従事者の賃金が重労働でありながら、全労働者平均と比較して低い

趣旨採択の討論

国で取り組んでいる点や、財源確保が困難。

採択の討論

国の動向を確認し対応するのが妥当と思われるが、介護従事者の現状を厳しいと認識。

福祉労働者の処遇改善・人材確保について 国に意見書を求める陳情

7対6で趣旨採択

提出者は全国福祉保育労働組合神奈川県本部。内容は福祉労働は介護・障害・保育と多岐に

趣旨採択の討論

者により大きな違いが出る部分もあり、全額国庫負担によるしわよせは必ず起こる。

採択の討論

赤ちゃんからお年寄りまで二宮町が安心してサービスを受ける体制のため、人づくりと人材確保に重点をおきたい。

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情

7対6で採択 国へ意見書を提出

提出者は神奈川県医療労働組合連合会。

厚生労働省は医療従事者の労働環境整備の取り組みを促進しているが、現況では確保・育成していくことも困難となる。超高齢社会において国が特段の措置を講じられるよう要望。陳情内容は、1. 看護師など夜勤交替制の労働時間を一日8時間、週32時間以内、勤務間隔を12時間以上とする。2. 医師・看護師・介護職員を大幅に増やす。3. 患者・利用者の自己負担を減らし安全安心の医療・介護を実現。4. 費用削減を目的とした病床削減はせず、地域医療に必要な病床機能の確保。

町政を問う

12月22日と24日の本会議では、
7名の議員が9件の問題を行政側に質問。
記事は本人の原稿に基づくもの。

一般質問



※写真は12月17日(水)の総括質疑にて撮影したものです

何度か傍聴しています

興味がある内容のときに傍聴に行くようにしていますが、今回も町の考えや新たな情報を得ることができました。手話通訳者がいますので、手話の勉強にもなります。(60代女性)

私たちが傍聴してきました

しっかり調査してよりよい質疑を！

一般質問は7人のうち6人が新人議員。新人議員の質問は、それぞれの得意分野に基づいて個性的で傍聴していて面白かったですが、執行者から何を引き出したいか曖昧で、事前調査不足も感じました。3月議会での活躍を期待したいです。(50代女性)

新鮮な雰囲気！ これからに期待！

構成が変わり、久しぶりに活発な議会でした。経験を重ねても情性にならないことを期待します。(60代女性)

議員との距離が近い！

初めての傍聴です。想像していたより議場の雰囲気が暗く、圧迫感を感じました。当日の資料をくれたのは良かったです。議員よりも傍聴者のほうが熱心にメモを取っているのが印象的でした。(30代男性)

	議員名	一般質問の内容（通告順・本人の一般質問通告書による）
1	根岸ゆき子	社会福祉法人「大磯恒道会」のその後を問う
2	二宮節子	将来を見据えた定住促進のための子育て支援策を問う
3	渡辺訓任	二宮町の国民健康保険事業運営について 二宮町の小児医療費助成の拡大について コミバス等を含む地域公共交通の整備について
4	前田憲一郎	町の財政をゼロからの見直しについて町長の見解を問う
5	柳川駅司	二宮町の産業について
6	露木佳代	子育て世代が使いやすく、子どもたちが楽しめる公園の在り方について町の見解を問う
7	野地洋正	将来の町づくりの主役となる青少年の健全育成について

根岸 ゆき子 議員



問

赤字決算である大磯恒道会の運営正常化を！

答

二宮町・大磯町・神奈川県の3者で協議

問 平成26年6月議会の『社会福祉法人「大磯恒道会」が適切かつ安全な運営がなされるよう二宮町議会から神奈川県に指導を求める請願』を受け、議会は指導監督権のある神奈川県に対し意見書を提出した。その後の動きや経緯の把握状況は。

町長 町にとって大変重要な法人だ。以前より働きかけや関心を強くよせている。25年度決算がまだ公表されていないことも心配している。近く神奈川県と大磯町、二宮町の3者が恒道会の状況改善に向け協議を行う予定。

健康福祉部長 恒道会は町が支出するサービス給付費総額の約16%を占め、緊急時のサービス利用や処遇困難者の対応もする重要な法人だ。県は、昨年監査をし、サービス低下にならぬよう職員が



二宮・大磯町にとって重要な恒道園
二宮町の待機者は39名

努力していると把握している。利用者のご家族から不安の声も聞いているのでさらに連携していきたい。

問 正式ではないが私が聞いた決算によると、1億円近い赤字で収入も減っているのになぜ待機者が入所できないのか。

健康福祉部長 職員の離職ですぐに対応できない

状況があると聞いている。

問 二宮町内にある「もとまちの家」や「かわわの家」と違い、恒道園は大磯町にあり直接に状況把握ができない。評議委員会に傍聴を申し入れてはどうか。

健康福祉部長 可能かどうかも含めて確認したい。

問 収支で目立ったのは本部会計にある理事の人員費の増額だ。バランス

を取るべきだがいかがか。

健康福祉部長 人件費の適正化への判断をする立場になく、県に確認する。

問 認知棟では精神課のドクターが不在なのか。

健康長寿課長 現在は不在と聞いている。

問 人員数の基準だけでなく内容についても県に確認してほしい。入所者が利用していた「二宮診療所」の閉鎖理由は何か。

健康福祉部長 具体的には聞いていない。ご家族の心配に比べ予防接種への対応は速やかに進めた。

問 労使問題で裁判になった結果、県労働委員会より不当労働行為に対する3つの命令が出た。控訴があっても履行されなければならぬが、県と協議できる内容か。

健康福祉部長 話を出すことは可能だ。

問 理事が決定している報酬額を評議委員会が決めるよう改めるという厚労省方針を町は認識しているか。

健康福祉部長 社会福祉法人の改革は承知している。



二宮町内の恒道会施設
認知症対応型グループホーム「かわわの家」

二宮 節子 議員



問

男性の子育て支援と医療費助成を問う

答

父子手帳の配布や講座で町民へ啓発

問 現政権では女性登用を積極的に促進する戦略を立て、女性が子育てしながら仕事を続けられるような環境づくりのための対策をハード、ソフトの両面で進めている。しかし女性の社会進出を推進するためには、夫の理解や協力がなければ成り立たない。男性の育児参加は夫婦や家族のきずなを深め、子どもの健全な成長に良い影響を与える。今、男性の育児参加は社会全体で共有することとし、イクメン（男性の育児参加）政策が推進されている。そこで今後の提案も含め見解を伺う。

政策部長 イクメンの町民への意識啓発として、父子手帳の交付や家庭、育児を支援するため父親に向けて子育てゼミナールや各種講座を開催している。

問 役場の男性職員の認識と環境整備は。

総務部長 男性職員は育児参加のため、育児休業や子どもの出産時における特別休暇の取り組みを実施している。

総務課長 所得補償は育児休業を取ると、基本的には無給であるが、共済組合より補償がある。

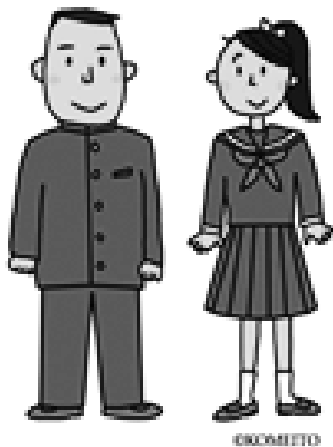
問 義務教育の間は保護者の安心のために小児医



イクメン支援に父子手帳の活用を推進

療費の無償化が望まれている。中学3年生までの無償化ができないか。

子育て担当部長 統一した全国的な制度とするように国に要望している。現在は、小学校6年生までだが、難しい財政事情の中で、平成24年10月からは所得制限を適用。今後の助成は対象年齢や所得制限など影響額を精査した上で拡充を図りたい。



中学3年生まで医療費の無償化を！

問 まずは一学年ずつなど段階的な取り入れはできないものか。

子育て担当部長 システム費用がかかるので実施するのであれば担当課としては既に中学3年生まで上げたいと考えている。

問 次に不育症に対する経済支援を確認する。大磯町や中井町ではすでに支援をしている。二宮町としてはどうか。町長に考えを伺う。

町長 専門に治療する病院が出てきて、制度があれば支援で安心して子どもを産めるといふ状況もある。近隣の自治体でもすでに支援が始まっていることは私も調べた。やれるところから始めていきたい。

支援の内容だが、近隣に並んでいくのか、対象の人数等も含め検討課題だと思っている。

問 導入時期としても具体的に考えているか伺う。

町長 次年度予算の最後の詰めを行っているところで支援対象者を何人にするかというところから、しっかりと精査していく。

渡辺 訓任 議員



問

国民健康保険税の引き下げを求める

答

保険税は引き上げないと苦しい

問 賃金引き下げ、年金削減等生活資金が減少する中、町民生活支援と定住促進策として国保税引き下げを求める。被保険者資格証明書（資格証）は、受診の抑制そして重症化を進める要因の一つになる。資格証の発行をしない滞納減少の策を求める。

健康福祉部長 財政確保と公平性の観点から現在の資格証を含めた徴税策をご理解いただきたい。

問 平成27年度は一般会計から繰り入れせず、繰越金・国保財政調整基金を活用し国保税引き下げは可能か。

健康福祉部長 国保財政調整基金は平成25年度末では1億5千万円であったが、医療費等の伸びに伴い取り崩し、今年度末の残高は8千5百万円の見込み。国保税は平成21



誰もが安心して医療を受けられる
国民健康保険に！

年度から引き上げていないが、医療費と後期高齢者支援金、介護納付金の合計額は3億7千200万円増えている状況。繰越金・基金を活用しての引き下げは難しい。

問 では、一般会計からの繰り入れで国保税の引き下げを求める。

健康福祉部長 特別会計の独立性、税の公平性の

観点から法で定められた金額以上の繰り入れは好ましくない。国保加入者数減少、医療費の増加傾向の中、保険税を上げていかなければ財政的には追いつかない。来年度の保険税は、国保の運営協議会で決める。できれば、来年度の引き上げはない方向でいきたい。

中学卒業までの医療費を無料に

問 6月議会で今年度中に小児医療費助成を中学卒業まで拡大する準備をする町は答弁した。現在の状況はどうか。

町長 自分の公約にも掲げており、最後の詰め段階。実施年度を確約できないが、小児医療費の中学卒業まで拡充の方向

コミュニティバス含めた公共交通の整備

で作業を進めている。

問 一昨年12月に変更したコミュニティバスについて、強い改善要求がある。ルート改善、料金の見直し、乗換割引などを求める。

政策部長 変更前より利用者は減少、一方、ルート変更によって中学生の利用は増えた。3年間の試験運行期間中は、行先の変更や予約システムの改善など事業者と交渉を通して対応していく。公共交通の空白をなくす観点、また、福祉的な観点も含め総合的に検討する。



大切な住民の足であるが
利用者がのびないコミュニティバス

前田 憲一郎 議員



問

町財政の見直しについて町長の見解を問う

答

採算面に考慮し適正な管理に努める

問 今日、少子高齢化が進む時代において町の税収が減ることは目に見えている。しかし、町民が望む多種多様な質の高いサービスを享受できるようにしていかなければならない。このような現状において、どのように財源を確保し、財政を見直すのか、町長の見解を伺う。

1. 公共施設の運用・維持管理、財源の確保について
2. 各種団体に対する補助金の見直しについて
3. 公共事業の施行にあたり、予算執行に伴う契約方法の見直し、発注書の審査、事業の厳重な検査を実施して、節税をしていかなければならない



年末年始は1か月も休業になる
(温水プール)

町長 全公共施設について、その役割、効果などを十分に踏まえて、さまざまな議論をし、採算面に

ついて十分に配慮する。いかにして利用率がアップするのか、まずは、そこからの取り組みが必要である。
補助金については、町民活動推進補助金の考え方と合わせ、公平で開かれた補助金制度とすべく、透明性・公平性を高めていく。
公共事業の推進にあたっての契約方法や検査方

努力していく。並行して業務の見直しを図り支出を抑えることを継続していく。ふたみ記念館は、今後町民の方々に開かれた施設とするために、建物西側のスペースの有効利用や運営方法の見直しなど、経費の削減にも努力していく。

政策部長 先程の町長の

答弁にもあったように、制度の整合性も考慮しつつ、町民の皆さまのご意見を伺いながら抜本的な補助制度の見直しも視野に入れていかなければならないと考えている。

総務部長 条例等の基準により町有地の無償貸付について見直しが必要なものを整理し、適正な管理に努めていく。

都市経済部長 公共事業の契約のあり方や検査方法などについて慎重に検証・検討を重ね、時代に即した手法を模索していきたいと考える。



いつもこのくらい来館してほしいな！
(ふたみ記念館)

柳川 駅司 議員



問

今後の二宮町の農業について

答

オリーブ栽培は引き続き継続

問 二宮町にはさまざまな地場産業があり、これらの産業をより活性化することで、町はさらに豊かになっていくものと信じているが、残念ながら衰退の道を歩んでいるように思う。農業を営む者として今後の農業施策をどのように捉えているか町長の考えを問う。

町長 農業を取り巻く環境は、全国的に非常に厳しい状況にあると認識している。農業従業者の高齢化、減少、担い手不足、耕作放棄地の増加、さらにはTPP問題などさまざまな課題が山積している。このような状況ではあるが、町の産業振興を推進するうえで、農業の再生は重要なことだと考えている。農業従事者の高齢化が進んでいることから、新たな農法で栽培に取り組み、独自の販売ルートを開拓する新規就農者、あるいは農業法人の参入を促しつつ、現在農業に従事している方も含めて、農業生産に対する支援を今後も継続していく。



試験圃場 早く実がなるように(一色)

問 前町長が今まで盛んであったミカン、酪農、シイタケその他農産物に加え、新たにオリーブ栽培を提唱され、そのために試験圃場をつくり、近隣市町村に呼びかけて「湘南オリーブ」を立ち上げ取り組んできたが、村田新町長は、オリーブ事業を今後どのように取り組んでいくのか。



夜に來ても、カメラが見ているよ

町長 オリーブ栽培推進の考え方だが、平成23年に町内でいち早くオリーブ栽培を始めていた中里の農業法人の方が、収穫によってできたオリーブオイルを前町長に紹介したことがきっかけと聞いている。オリーブの実実は加工前にそのままかじると非常に渋く、鳥獣被害にあいにくい。また、他の果実と比較してそれほど栽培に手間がかからないということから、遊休・荒廃農地対策につながるが見込まれるとして、新たな特産物として着目し、栽培を始めたということだが、実がなる

問 鳥獣被害について町はどのような取り組みをしているのか伺う。

産業振興課長 電気柵の補助を行っている。10アールあたり10万円が限度で補助率は2分の1だが、町の特産品として奨励している落花生については補助率4分の3としている。

までには5年、10年かかってしまうのが現実ではないかと認識している。この先数年間は、生産者が主体となって栽培に取り組んでいただき、町がサポートしていく体制で推進していく。

露木 佳代 議員



問

使いやすく、楽しめる風致公園のあり方とは

答

駐車場は検討中、水遊び場は設置不可

問 3月で工事が終わる風致公園に関し、町民の要望を実現化する手段として、公園づくり・運営委員会などが設置されると良い。どう思うか。

都市整備課長 現在、町内の公園は地域の方により活発に活動・管理されている地区もある。風致公園も花壇など部分的にでも有志が集まり管理していくなど、行政と一体となり運営できるように体制を整えていきたい。

問 朝市やイベント等でも使えると望ましいが、規制や制約などがあるか。

都市整備課長 場合により関係法令と調整が必要だが一時的なイベントの場合対応することは可能。相談があれば随時のる。

問 駐車場はどのような料金体系になるのか。公園も図書館も子どもたちには重要。時間を気にせ

ず利用できる環境が望ましい。町内の小学校3年生までの保護者は小児医療証の提示などで駐車料金を1時間無料から2時間無料に変更できないか。

都市経済部長 ラディアン駐車場は料金体系との関係も含め、公園利用で駐車料金を取るのがよいのかという観点からも十分精査して新年度までに検討していく。



工事中の風致公園
『ラディアン花の丘公園』に正式名称が決定

問 子育て世代にとって公園や図書館の駐車場が有料なことや、吾妻山のローラー滑り台が有料なのは、二宮への移住を考える人に対して子育て支援が整っていない町、財源が苦しい町という印象を強く与える。このような町のやり方でその町の優しさが判断されてしまう側面があると思うがどうか。

政策部長 それらを無料にして財源をどう生み出すのか。町がどう進むべきかを含め議論する。

問 小・中学校にプールがない町だからこそ水に親しむ機会を子どもたちに用意してほしいが、風致公園や果樹公園に水遊び場を作ることができないか。また今あるプールに近隣市町村のように普



ラディアン花の丘公園にふわふわ(トランポリン)と、幼児の複合遊具が設置されます(写真はイメージ)

段オムツをしている子どもを入れるよう措置をとれないか。

都市経済部長 風致公園で水遊び場が作れないか検討したが、工事費用がかかり難しいと判断した。果樹公園の敷地は県から無償貸与されており、水遊び場等の構造物を設置することは厳しい。

教育次長 町内のプールを開放するのは、他の利用者の理解(衛生上の)が得られるのか、また許可した場合の監視員配置等も含め管理責任も見直す必要がある。

野地 洋正 議員



問

待ったなしの青少年健全育成について問う

答

より効果の高い施策を展開していく

問 将来のまちづくりを担う子どもたちは全町民の宝物であり、青少年の健全育成事業を継続することが重要であると考えらる。青少年健全育成事業の必要性、重要性、進むべき方向性について伺う。

教育次長 まちづくりと大きくかわるため非常に重要。育成支援事業として、ジュニアリーダー養成や子ども会の支援等を位置づけて実施している。また、各地区、団体においても活動が進められている。今後も継続した取り組みをお願いしたい。

問 二宮町には核となる組織、団体がすでに存在しており近隣自治体、県からも高い評価を得ているが、近年弱体化の傾向にある。子ども会、中学生サークル恵友会、高校生以上のボランティア団体シニアリーダーズクラ

ブだが、会員数、加入率、そして主な事業とその成果はどうか。

教育次長 子ども会は22年度1174人79%から26年度917人70%、恵友会は65人から11人と大きく減少。シニアリーダーズクラブは22人とは横ばい。事業と結果については、子ども会祭り他、各地区においてもさまざまな催しが開催され



ジュニアリーダー養成研修会
中学生のうどん作りを高校生がお手伝い！
(ふるさとの家にて)

ており、子ども野外研修では企画から運営まで参画してもらっている。恵友会は年4回のジュニアリーダー養成研修、ごみゼロキャンペーンに参加。シニアリーダーズクラブは、清掃活動や子ども会、町行事に協力、ジュニアリーダー養成研修では中心的な役割を担っている。いずれの活動も自分で考える貴重な

経験の場となっており、将来の二宮町民として地域活動へつながるものと期待している。

問 積極的な活動をしていくために会員数を増加させる必要があるが、加入率を増やしていくためにさらに何が必要と考えるか。

教育次長 社会環境の変化に伴い非常に難しい課



ジュニアリーダー養成研修会
小中高大生が一緒に楽しく仲間づくり！
(果樹公園にて)

題であるが、長い目で人材育成として継続していくことが重要と考える。意見を聞きながら改善していく。

問 特に恵友会員減少の一因にジュニアリーダー養成研修会の対象者を中学生からおおむね20歳までの全町民と広げすぎた点にあると思うがいかがか。

教育次長 ジュニアリーダーのくくりは県ではほぼ統一であり今後も継続していく。その中で青少年指導員連絡協議会とも相談しながらより効果の高い育成施策を展開していく。

『地方創生』

希望あふれる新たなスタート 2015

私の抱負



二宮町議会
議長

添田孝司議員

総務建設経済常任委員
(無所属)二宮59214

昨年12月に議長に選任され、その重責に身の引き締まる思いです。議会は、予算の議決、また、条例や計画の議決など町の将来に関わるさまざまな決定を行います。その他に、執行機関の行財政の運営や事業の実施などに対する監視及び政策や条例提案など町民の代表として行う重要な役割があります。

町民の皆さまは、まちづくり政策や各施策及び事業などに対し、多様なお考えやご意見をお持ちです。より多くの意見を集約し、反映した議論を行い、意思を決定することが議会には求められます。議会はその役割を十分果たすために議会改革を行ってき

ました。本会議のテレビ放映、本会議・委員会の公開、ホームページや議会だよりによる情報公開、そして議会報告会・意見交換会を開催して町民の皆さまとの直接的な話し合いなどでより開かれた議会を目指してきました。また、議会の活性化の点では、定例会閉会中に常任委員会を開き、町の課題を議論し、政策提言を提出してきました。今後は議員提案による条例案提出の頻度を高めるなどさらなる活性化が求められます。

議会議員改選後、議会の雰囲気も一新いたしました。これを機に、さらなる改革を進め、町民に開かれた活気ある議会を目指し、頑張ります。

副議長



根岸ゆき子
議員

教育福祉常任委員
(無所属)緑が丘31414
昨年11月の改選を経て、それぞれ町民の方から信託をうけた14人の新議会が誕生いたしました。

新議員が8名、再選議員が6名という構成の中、私自身は副議長という役割をいただき、議会全体の調整役として、改革への提案者として、気持ち新たにこの責務を全うしたいと感じています。

議会基本条例策定後の2年間、議論の公開性を高める努力を重ねてまいりましたが、願うほどには町民の方々との相互通行は叶わなかったように思います。

さらなる工夫を重ね、また二元代表制の下、さまざまな政策や課題に取り組み結果を出すためには、14人という個々が力を発揮してまとめ上げていく「チーム力」が求められます。その認識に立ち、町民のためにある議会作りにあげみますので、皆さまからの忌憚ないご意見をお待ち申し上げております。



桑原英俊
議員

総務建設経済常任委員長
(無所属)二宮8841号
多くの皆さまから信任をいただき、2期目がスタートいたしました。1期目で培った経験を生かし、気持ち新たに姿勢を正し、町民の皆さまお一人おひとりの声を大切に町政に届けてまいります。

安全安心のためのまちづくりを目指し、元気な二宮町を実現してまいります。



善波宣雄
議員

総務建設経済常任副委員長
(無所属)山西450

皆さま方のご支援をたまわり、議会に送り出していたいただき感謝申し上げます。深刻な少子高齢化・人口減少など実にさまざまな課題があります。二宮町に住んで良かったと思える人が増えるよう、また二宮町に住みたいという人が増えるよう心がけ町政の課題に取り組んでまいります。



杉崎俊雄
議員

総務建設経済常任委員
(無所属)山西65

「初心勿忘」4期目の信任をいただき、決意新たに初心にかえり、培った経験を糧に、議員活動に励み負託に応えたい。議会基本条例に則り、議会の果たすべき役割と責任を自覚し、政策提言も積極的に行いたい。また、議会選出の監査委員として重責を果たすべく全力で臨む。



柳川駅司
議員

総務建設経済常任委員
(無所属)一色1089

今も続く人口減、緊縮財政と二宮町の状況は大変な時代が続いている。気候温暖、車で他地方へのアクセスは抜群に便利な面をもっているのになぜ?と二宮町に住む者として強く感じます。商店街が活性化し、町の中で働く方々のためにも、活気ある町、二宮になればと思います。



小笠原陶子
議員

教育福祉常任委員長
(無所属)百合が丘21010

今議会は新人議員が大半を占め、町3役も一新し、フレッシュな町政に、町民の皆さまの期待も大きいと感じています。今年は統一地方選挙の年。政治への関心を引き続き高め、投票率向上を願います。また、介護保険や子育て支援制度も変わります。教育福祉の委員長として精進いたします。



前田憲一郎
議員

教育福祉常任委員
(無所属)山西95

皆さま方のご支援をたまわり、議会に送り出していたいただきまして感謝申し上げます。ご期待にそえるよう気を引き締め、4年間町政の課題を解決すべく全力で取り組んでまいります。老いも若きも障がい者と健常者が一つに共生して、安心して生活できる町づくりを目指してまいります。



露木佳代
議員

教育福祉常任委員
(無所属)中里10135203

町で何が動き、決まっているのか。頻繁に情報発信をすることで町政や議会に対する興味を多くの方から掘り起こすのが私の役目の一つだと思っています。その興味は町づくりの源になります。どの世代もワクワクするような二宮を作りましょう!力をお貸しください!



一石洋子
議員

総務建設経済常任委員
(神奈川ネット)二宮3128

オペラのなかでコーラスとは、民の声であり、物語の柱である意味を歌い上げます。大地の声です。二宮町は、大地の力を感じさせる風土と人に恵まれています。心から信頼しあつて心から議論し、人間らしい創意にあふれた、私たちならではの共同体の事業が生まれることに貢献します。



二見泰弘
議員

総務建設経済常任委員
(無所属)二宮832

町政には難問山積でございます。財政健全化・公共施設の統廃合・いつ来るかわからない大地震・人口減少・子育て問題・定住促進など解決しなければならぬ課題があります。初心忘れず町民目線に立ち、解決していきます。町民皆さまのご指導・ご鞭撻をよろしく願います。



野地洋正
議員

教育福祉常任副委員長
(無所属)二宮1108

皆さまのご期待にお応えるためにもしっかりと勉強し、将来を見据えた施策を追求してまいります。人口の維持、定住化の促進は、教育、福祉、商業などあらゆる分野に光を差し込みます。素晴らしき自然環境と、暖かな町民の心を武器に、広い視野で二宮町をアピールしてまいります。



二宮節子
議員

教育福祉常任委員
(公明党)山西4304

皆さまより暖かいご支援をたまわり、議会に送り出していただきました。どこまでも一人の声を大切にして、これからの4年、少子化問題・超高齢化など、早急に対応しなければいけない課題に、全力で取り組み、二宮町の新たな地域創生を目指してまいります。



渡辺訓任
議員

教育福祉常任委員
(日本共産党)山西146027

今年は戦後70年。日本国憲法の素晴らしさと重みを改めて感じています。暮らしの格差が拡がるという中、「憲法をくらしに生かす」気持ちで、誰もが住みやすさを感じることのできる二宮町をつくるために、幅広く皆さんと一緒に取り組みを進めてまいります。



畑再生のためのがれき撤去(宮城)

昨年は広島の高雨土砂災害、御嶽山の噴火、長野の神城断層地震と大規模な自然災害が多発しました。「二宮災害ボランティアネットワーク」は、3・11東日本大震災のあと二宮町から岩手に出された

**町民活動推進
補助金団体**

紹介

**みんなで一緒に
活動しよう!!**

二宮災害ボランティアネットワーク

これまで私たちはボランティアを日帰り便で福島に2回出し、丹那断層見学や宮田火災体験研修、静岡防災センター研修等を実施。生命の星地球博物館館長の平田先生の講演会には121名が参加し

ボランティアバス(夜行2泊4日)の参加者が中心に立ち上げた団体です。目的は、災害時において二宮町に設置される災害ボランティアセンターを町や社会福祉協議会と連携しながら運営し、全国から駆けつけて来るボランティアの受け入れ、被災者ニーズとのマッチング、支援活動を行うことです。



今もそのままの富岡駅周辺

ました。

二宮町は神縄・国府津松田断層帯に隣接し、南関東地震や神奈川西部地震が危惧され首都直下地震も今後30年のうちに70%以上の確率と言われています。

二宮災害ボランティアネットワークは平常時は地域防災、減災の啓発活動を通じて災害時対応の経験、知識、ノウハウを蓄積し人材育成とスキルアップを図って地域の震災や災害に備えたいと考えています。災害に関心のある方は一緒に活動してみませんか！

会長 田口謙吉

議会だよりができるまで

1月6日からスタートした議会だよりづくり。6名の委員のうち4名が新議員という中で、試行錯誤しながら作業はなんとか進みました。今回は入稿までの流れをご紹介します。



1. 議会だより編集委員会初日、表紙と執筆担当を決める。一般質問と総括質疑をした議員は決められた文字数で原稿を各自執筆。掲載する写真も各自で撮影する。

2. レイアウト決め&割り当てられた原稿を締切までに執筆。分かりやすく、読みやすく書くのがポイント。

3. 原稿を持ち寄り全員で内容と誤字脱字を徹底的にチェック。漢字や仮名づかいは新聞表記に統一。

4. 見出しを切り貼りし、フォントやサイズ、カラー、写真の縦横比、余白の大きさなど細かく指示して完成形のイメージを作る。単純なPC操作でできることも手作業。



5. 印刷所に出向し色校正と最終的な文字校正をして再入稿。完成。自宅執筆を除くとおよそ10日間で完成。



議会だよりのご意見ご感想お待ちしています。



編集室だより

二見

議会情報をより早く！分かりやすく！町民の皆さまに親しまれ、読んでいただける議会だよりを目標にします。

露木

原稿以外、手作業で驚きました。鉛筆、ハサミ、定規の作業を徐々に効率化できるよう、内容も含め改善していきたいと思います。

桑原

レイアウトを分かりやすいようにし、愛される議会だよりにしていきたいです。

二宮

原稿をまとめるのが大変でした。楽しみにしていただける内容になるように努力していきます。

野地

わかりやすい言葉、表現で子どもたちにも親しまれる議会だよりを目指します。

柳川

町民に親しまれる内容、分かりやすい内容を目指します。楽しみにしていてください。

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議会だより編集委員会
柳川	野地	二宮	桑原	露木	二見	
駅司	洋正	節子	英俊	佳代	泰弘	